

# USバンクローンファンド・ 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし (毎月分配型)

追加型投信／海外／その他資産（金銭債権）

## 交付運用報告書

第8期(決算日2014年12月19日)

第9期(決算日2015年1月19日)

第10期(決算日2015年2月19日)

第11期(決算日2015年3月19日)

第12期(決算日2015年4月20日)

第13期(決算日2015年5月19日)

作成対象期間(2014年11月20日～2015年5月19日)

### <為替ヘッジあり>

第13期末(2015年5月19日)	
基準価額	9,722円
純資産総額	756百万円
第8期～第13期	
騰落率	1.5%
分配金(税込み)合計	210円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

### <為替ヘッジなし>

第13期末(2015年5月19日)	
基準価額	10,918円
純資産総額	6,687百万円
第8期～第13期	
騰落率	4.3%
分配金(税込み)合計	710円

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、米ドル建ての企業向け貸付債権に投資する投資信託証券および残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券に投資する投資信託証券を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行うことを基本とします。

ここに、当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することができる旨を定めております。運用報告書(全体版)は、野村アセットマネジメントのホームページで閲覧・ダウンロードしていただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページを開く

⇒「ファンド検索」にファンド名を入力しファンドを選択

⇒ファンド詳細ページから「運用報告書(全体版)」を選択

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

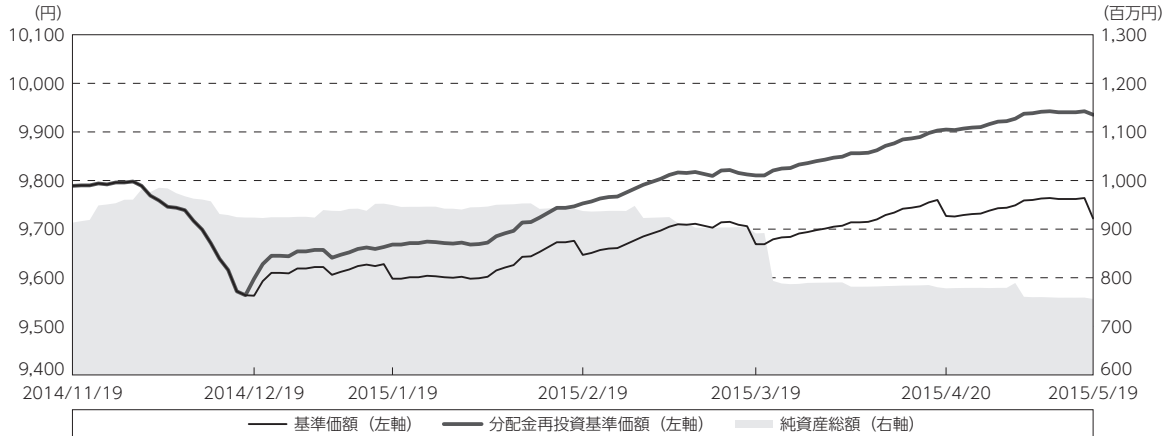
ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## 〈為替ヘッジあり〉

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

(2014年11月20日～2015年5月19日)



第8期首：9,789円

第13期末：9,722円 (既払分配金(税込み)：210円)

騰落率：1.5% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2014年11月19日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

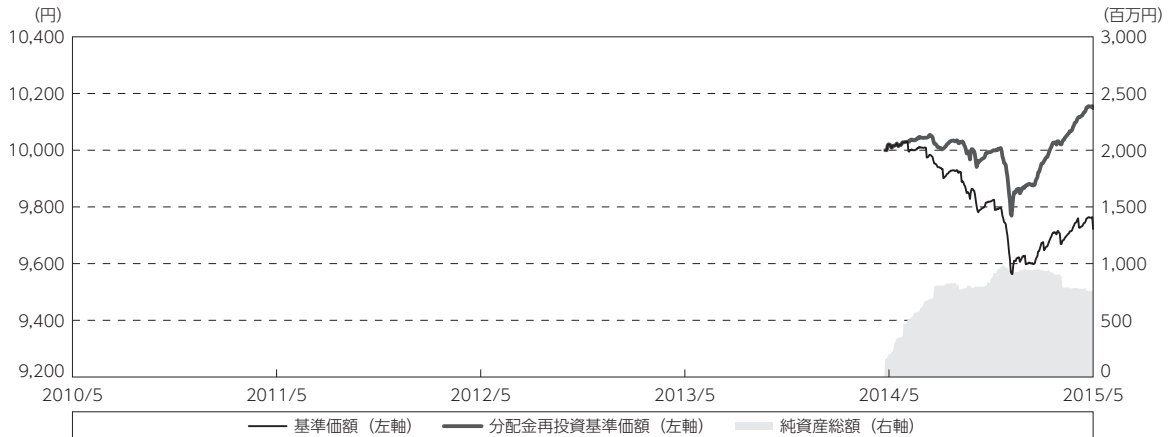
基準価額は、当作成期首9,789円から当作成期末には9,722円となりました。

- ・2014年末にかけて原油価格の下落やギリシャの政治リスクの高まりなどを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことによるバンクローンの価格下落
- ・2015年1月の米雇用統計が市場予想を上回ったことや、一部米国企業の決算が堅調だったこと、CLO(バンクローン等を担保資産とする証券化商品)の発行が増加し、機関投資家からの需要が良好だったことを背景としたバンクローンの価格上昇
- ・個人投資家からの資金流出が概ね収まったことに加え、年金等の機関投資家からの資金が流入したため需給が良好となったことを背景としたバンクローンの価格上昇



## 最近5年間の基準価額等の推移

(2010年5月19日～2015年5月19日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 当ファンドの設定日は2014年5月13日です。

	2014年5月13日 設定日	2014年5月19日 決算日	2015年5月19日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,020	9,722
期間分配金合計(税込み) (円)	-	0	420
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	0.2	1.3
純資産総額 (百万円)	161	198	756

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2014年5月19日の騰落率は設定当初との比較です。  
 (注) 当ファンドは、外国投資信託証券に投資するファンド・オブ・ファンズであり、ベンチマーク等は設けておりません。

**投資環境**

(2014年11月20日～2015年5月19日)

当作成期中のバンクローンは米国の雇用統計などの経済指標に左右された他、ギリシャの政治リスク、原油価格の動向などにも影響されました。

また、FRB（米連邦準備制度理事会）の金利政策の動向にも影響されました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2014年11月20日～2015年5月19日)

**[USバンクローンファンド・為替ヘッジあり(毎月分配型)]**

〔ノムラ・グローバル・マネージャー・セレクトーバンクローン・ファンドー日本円為替ヘッジクラス〕  
受益証券および〔野村マネーマーケット マザーファンド〕受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする〔ノムラ・グローバル・マネージャー・セレクトーバンクローン・ファンドー日本円為替ヘッジクラス〕受益証券への投資比率を、概ね90%以上に維持しました。

**[ノムラ・グローバル・マネージャー・セレクトーバンクローン・ファンドー日本円為替ヘッジクラス]**

ポートフォリオにおける通貨別比率については、米ドル建てのローンのみを組み入れました。

信用格付け別組入比率については、BB格、B格を中心に投資を行い、BBB格、BB格、B格、CCC格以下及び無格付けの組入比率は、2015年4月末には2.8%、28.5%、59.9%、7.0%としました。

組入資産について、原則として実質的に対円で為替ヘッジを行ないました。

**[野村マネーマーケット マザーファンド]**

残存期間の短い高格付けの公社債への投資により安定した収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

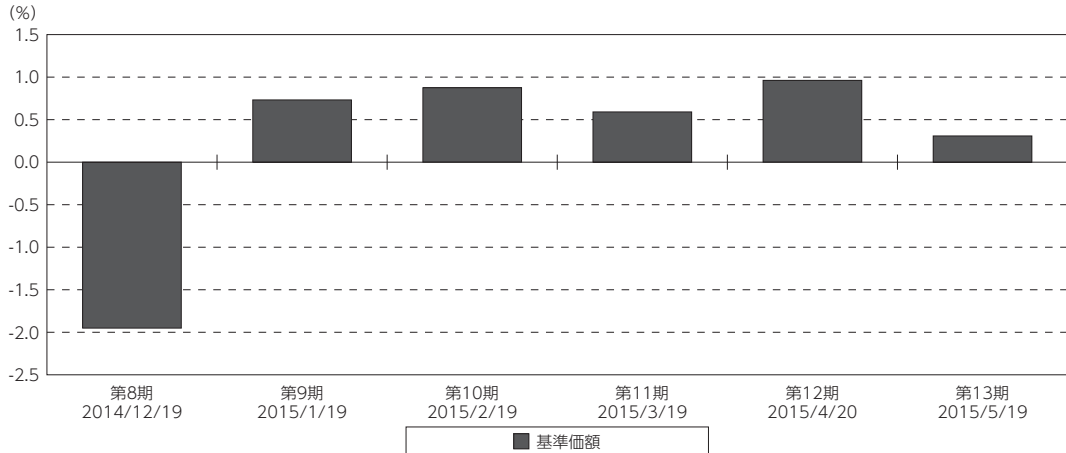
## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2014年11月20日～2015年5月19日)

当ファンドは、外国投資信託証券に投資するファンド・オブ・ファンズであり、ベンチマーク等は設けておりません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

基準価額（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## 分配金

(2014年11月20日～2015年5月19日)

収益分配については、利子・配当等収入、信託報酬などの諸経費を勘案して分配を行ないました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項目	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期	第13期
	2014年11月20日～ 2014年12月19日	2014年12月20日～ 2015年1月19日	2015年1月20日～ 2015年2月19日	2015年2月20日～ 2015年3月19日	2015年3月20日～ 2015年4月20日	2015年4月21日～ 2015年5月19日
当期分配金	35	35	35	35	35	35
(対基準価額比率)	0.365%	0.363%	0.361%	0.361%	0.359%	0.359%
当期の収益	35	35	35	35	35	35
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	299	335	367	409	444	475

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### [USバンクローンファンド・為替ヘッジあり(毎月分配型)]

[ノムラ・グローバル・マネージャー・セレクトーバンクローン・ファンドー日本円為替ヘッジクラス]  
受益証券および[野村マネーマーケット マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とします。通常  
の状況においては、「ノムラ・グローバル・マネージャー・セレクトーバンクローン・ファンドー日本円  
為替ヘッジクラス」の組み入れを高位に維持します。

### [ノムラ・グローバル・マネージャー・セレクトーバンクローン・ファンドー日本円為替ヘッジクラス]

組み入れ銘柄に注視しつつ、安定した収益の確保を目指す方針です。また、流動性や組み入れ  
銘柄の信用力を考慮し、ボトムアップによる銘柄選択を行ないつつ、分散投資とトータルリター  
ンの確保をより一層強化して行く予定です。

組入資産について、原則として対円で為替ヘッジを行ないます。

### [野村マネーマーケット マザーファンド]

残高動向に応じて残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への  
投資により利息等収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用  
を行なうことで流動性の確保を図る運用を行なう方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いたします。

## お知らせ

- ①運用報告書（全体版）について電磁的方法により提供する所要の約款変更を行いました。  
 <変更適用日：2014年12月1日>
- ②書面決議の要件緩和等に関する所要の約款変更を行いました。  
 <変更適用日：2014年12月1日>
- ③書面決議に反対した受益者が受託者に対して行う受益権の買取請求を不適用とする所要の約款変更を行いました。  
 <変更適用日：2014年12月1日>

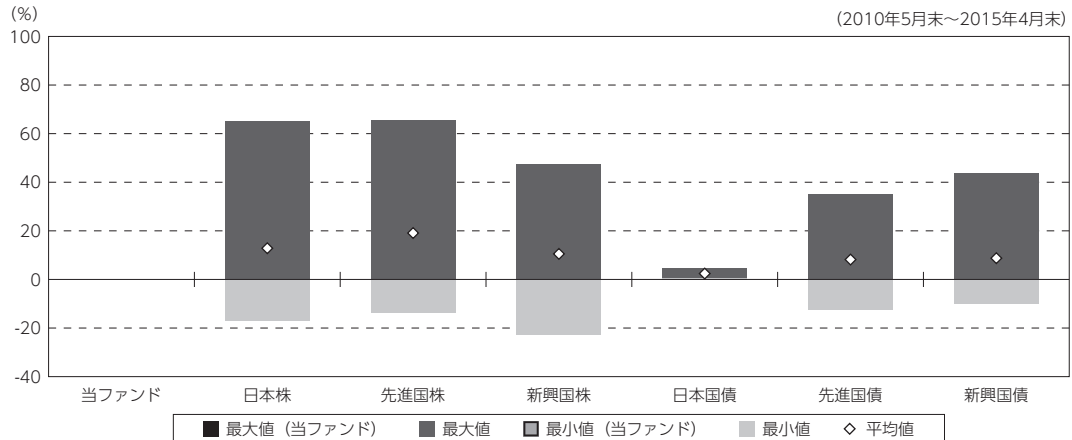
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（金銭債権）
信託期間	2014年5月13日から2023年11月20日までです。
運用方針	米ドル建ての企業向け貸付債権（以下「バンクローン」といいます。）に投資する投資信託証券（投資信託および外国投資信託の受益証券（投資法人および外国投資法人の投資証券を含みます。）。以下同じ。）および残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券に投資する投資信託証券を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行うことを基本とします。 投資信託証券への投資は、高位を維持することを基本とします。なお、通常の状況においては、主として米ドル建てのバンクローンに投資する投資信託証券への投資を中心としますが、各投資信託証券への投資比率には特に制限を設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。 投資する投資信託証券については、外貨建て資産について為替ヘッジを行うことを基本とするもの、もしくはこれらに類するものに限定することを基本とします。
主要投資対象	バンクローンに投資する投資信託証券および残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券に投資する投資信託証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	米ドル建てのバンクローンに投資する投資信託証券および残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券に投資する投資信託証券を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行うことを基本とします。
分配方針	毎決算時に、原則として利子・配当等収益等を中心に分配を行うことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。なお、市況動向や基準価額水準等によっては、分配金額が大きく変動する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。



## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	—	65.0	65.7	47.4	4.5	34.9	43.7
最小値	—	△ 17.0	△ 13.6	△ 22.8	0.4	△ 12.7	△ 10.1
平均値	—	12.8	19.1	10.5	2.4	8.2	8.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2010年5月から2015年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドの騰落率につきましては、運用期間が1年未満であるため掲載しておりません。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

## 《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、P22の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

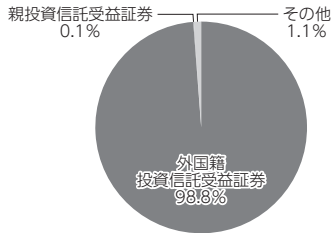
## 組入資産の内容

(2015年5月19日現在)

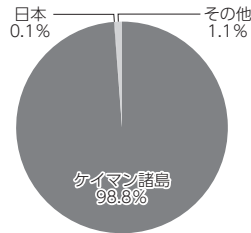
## ○組入ファンド

銘柄名	第13期末
	%
ノムラ・グローバル・マネージャー・セレクトーバンクローン・ファンドー日本円為替ヘッジクラス	98.8
野村マネーマーケット マザーファンド	0.1
組入銘柄数	2銘柄

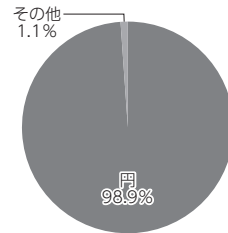
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報は、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

項目	第8期末	第9期末	第10期末	第11期末	第12期末	第13期末
	2014年12月19日	2015年1月19日	2015年2月19日	2015年3月19日	2015年4月20日	2015年5月19日
純資産総額	923,726,743円	949,445,859円	937,214,995円	891,113,731円	778,184,880円	756,301,187円
受益権総口数	965,970,223口	989,192,686口	971,483,088口	921,587,952口	800,049,347口	777,943,865口
1万口当たり基準価額	9,563円	9,598円	9,647円	9,669円	9,727円	9,722円

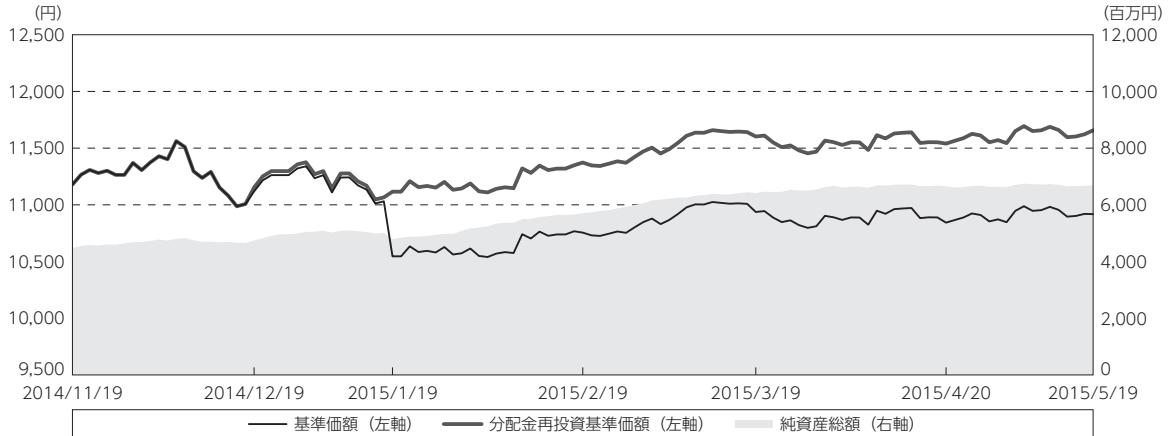
(注) 当作成期間中(第8期~第13期)における追加設定元本額は174,480,698円、同解約元本額は329,586,978円です。

## 〈為替ヘッジなし〉

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

(2014年11月20日～2015年5月19日)



第8期首：11,179円

第13期末：10,918円 (既払分配金(税込み)：710円)

騰落率：4.3% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2014年11月19日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、当作成期首11,179円から当作成期末には10,918円となりました。

- ・2014年末にかけて原油価格の下落やギリシャの政治リスクの高まりなどを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことによるバンクローンの価格下落
- ・2015年1月の米雇用統計が市場予想を上回ったことや、一部米国企業の決算が堅調だったこと、CLO(バンクローン等を担保資産とする証券化商品)の発行が増加し、機関投資家からの需要が良好だったことを背景としたバンクローンの価格上昇
- ・個人投資家からの資金流出が概ね収まったことに加え、年金等の機関投資家からの資金が流入したため需給が良好となったことを背景としたバンクローンの価格上昇
- ・ドル・円の為替相場推移



## 最近5年間の基準価額等の推移

(2010年5月19日～2015年5月19日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 当ファンドの設定日は2014年5月13日です。

	2014年5月13日 設定日	2014年5月19日 決算日	2015年5月19日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,956	10,918
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	920
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 0.4	19.5
純資産総額 (百万円)	533	730	6,687

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2014年5月19日の騰落率は設定当初との比較です。  
 (注) 当ファンドは、外国投資信託証券に投資するファンド・オブ・ファンズであり、ベンチマーク等は設けておりません。

**投資環境**

(2014年11月20日～2015年5月19日)

当作成期中のバンクローンは米国の雇用統計などの経済指標に左右された他、ギリシャの政治リスク、原油価格の動向などにも影響されました。

また、FRB（米連邦準備制度理事会）の金利政策の動向にも影響されました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2014年11月20日～2015年5月19日)

**[USバンクローンファンド・為替ヘッジなし (毎月分配型)]**

〔ノムラ・グローバル・マネージャー・セレクトーバンクローン・ファンドー日本円クラス〕 受益証券および〔野村マネーマーケット マザーファンド〕 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする〔ノムラ・グローバル・マネージャー・セレクトーバンクローン・ファンドー日本円クラス〕 受益証券への投資比率を、概ね90%以上に維持しました。

**[ノムラ・グローバル・マネージャー・セレクトーバンクローン・ファンドー日本円クラス]**

ポートフォリオにおける通貨別比率については、米ドル建てのローンのみを組み入れました。

信用格付け別組入比率については、BB格、B格を中心に投資を行い、BBB格、BB格、B格、CCC格以下及び無格付けの組入比率は、2015年4月末には2.8%、28.5%、59.9%、7.0%としました。

組入資産について、原則として実質的に対円で為替ヘッジを行いませんでした。

**[野村マネーマーケット マザーファンド]**

残存期間の短い高格付けの公社債への投資により安定した収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

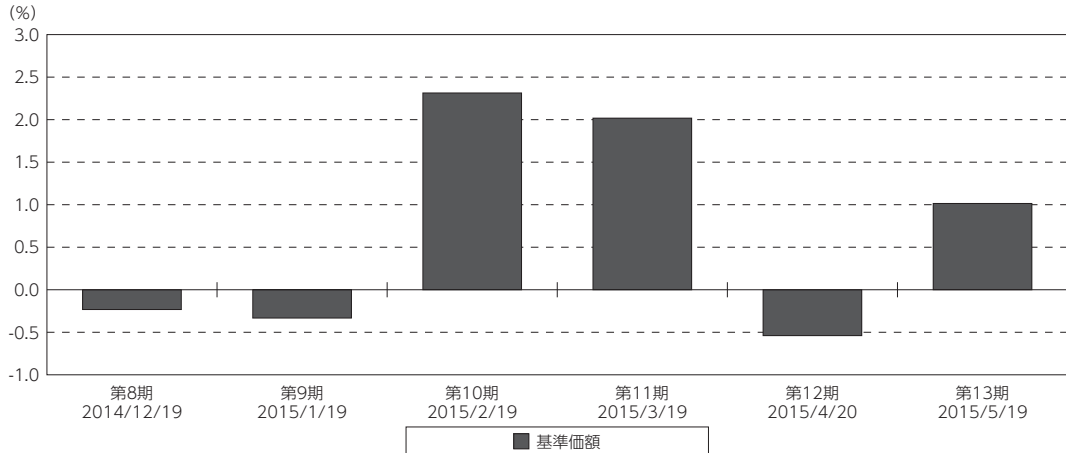
## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2014年11月20日～2015年5月19日)

当ファンドは、外国投資信託証券に投資するファンド・オブ・ファンズであり、ベンチマーク等は設けておりません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

基準価額（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## 分配金

(2014年11月20日～2015年5月19日)

収益分配については、利子・配当等収入、信託報酬などの諸経費を勘案して分配を行ないました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項目	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期	第13期
	2014年11月20日～ 2014年12月19日	2014年12月20日～ 2015年1月19日	2015年1月20日～ 2015年2月19日	2015年2月20日～ 2015年3月19日	2015年3月20日～ 2015年4月20日	2015年4月21日～ 2015年5月19日
当期分配金	35	535	35	35	35	35
(対基準価額比率)	0.314%	4.828%	0.324%	0.319%	0.322%	0.320%
当期の収益	35	66	35	35	35	35
当期の収益以外	—	468	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,224	758	788	948	972	1,001

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### [USバンクローンファンド・為替ヘッジなし(毎月分配型)]

〔ノムラ・グローバル・マネージャー・セレクトーバンクローン・ファンドー日本円クラス〕 受益証券および〔野村マネーマーケット マザーファンド〕 受益証券を主要投資対象とします。通常の状態においては、「ノムラ・グローバル・マネージャー・セレクトーバンクローン・ファンドー日本円クラス」の組み入れを高位に維持します。

### [ノムラ・グローバル・マネージャー・セレクトーバンクローン・ファンドー日本円クラス]

組み入れ銘柄に注視しつつ、安定した収益の確保を目指す方針です。また、流動性や組み入れ銘柄の信用力を考慮し、ボトムアップによる銘柄選択を行ないつつ、分散投資とトータルリターンを確保をより一層強化して行く予定です。

組入資産について、原則として対円で為替ヘッジを行ないません。

### [野村マネーマーケット マザーファンド]

残高動向に応じて残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図る運用を行なう方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。



## お知らせ

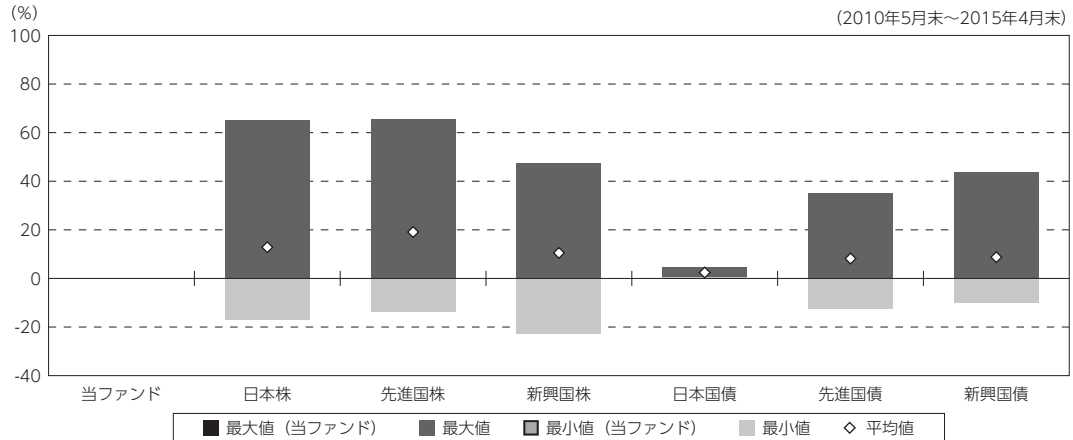
- ①運用報告書（全体版）について電磁的方法により提供する所要の約款変更を行いました。  
 <変更適用日：2014年12月1日>
- ②書面決議の要件緩和等に関する所要の約款変更を行いました。  
 <変更適用日：2014年12月1日>
- ③書面決議に反対した受益者が受託者に対して行う受益権の買取請求を不適用とする所要の約款変更を行いました。  
 <変更適用日：2014年12月1日>

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（金銭債権）
信託期間	2014年5月13日から2023年11月20日までです。
運用方針	米ドル建ての企業向け貸付債権（以下「バンクローン」といいます。）に投資する投資信託証券（投資信託および外国投資信託の受益証券（投資法人および外国投資法人の投資証券を含みます。）。以下同じ。）および残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券に投資する投資信託証券を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行うことを基本とします。 投資信託証券への投資は、高位を維持することを基本とします。なお、通常の状況においては、主として米ドル建てのバンクローンに投資する投資信託証券への投資を中心としますが、各投資信託証券への投資比率には特に制限を設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。 投資する投資信託証券については、外貨建て資産について為替ヘッジを行わないことを基本とするもの、もしくはこれらに類するものに限定することを基本とします。
主要投資対象	バンクローンに投資する投資信託証券および残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券に投資する投資信託証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	米ドル建てのバンクローンに投資する投資信託証券および残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券に投資する投資信託証券を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行うことを基本とします。
分配方針	毎決算時に、原則として利子・配当等収益等を中心に分配を行うことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。なお、市況動向や基準価額水準等によっては、分配金額が大きく変動する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	-	65.0	65.7	47.4	4.5	34.9	43.7
最小値	-	△ 17.0	△ 13.6	△ 22.8	0.4	△ 12.7	△ 10.1
平均値	-	12.8	19.1	10.5	2.4	8.2	8.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2010年5月から2015年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドの騰落率につきましては、運用期間が1年未満であるため掲載しておりません。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

## 《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P22の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

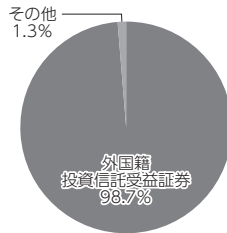
## 組入資産の内容

(2015年5月19日現在)

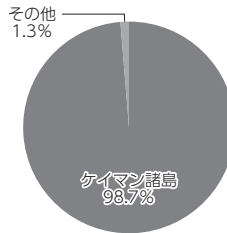
## ○組入ファンド

銘柄名	第13期末
	%
ノムラ・グローバル・マネージャー・セレクトーバンクローン・ファンドー日本円クラス	98.7
野村マネーマーケット マザーファンド	0.0
組入銘柄数	2銘柄

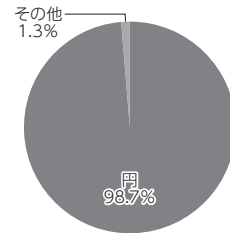
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

項目	第8期末	第9期末	第10期末	第11期末	第12期末	第13期末
	2014年12月19日	2015年1月19日	2015年2月19日	2015年3月19日	2015年4月20日	2015年5月19日
純資産総額	4,740,655,287円	4,791,746,225円	5,704,847,695円	6,414,125,347円	6,657,185,001円	6,687,146,000円
受益権総口数	4,264,091,213口	4,543,594,484口	5,304,275,058口	5,864,840,116口	6,139,523,731口	6,125,135,231口
1万口当たり基準価額	11,118円	10,546円	10,755円	10,937円	10,843円	10,918円

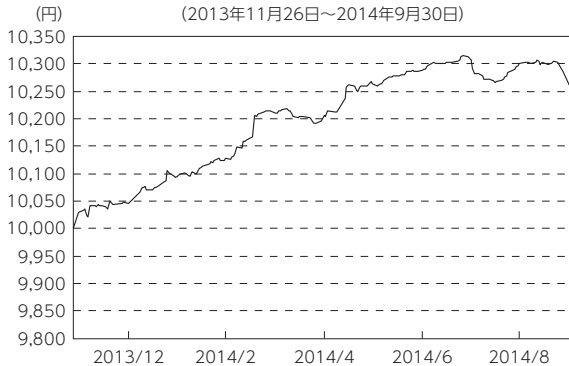
(注) 当作成期間中(第8期~第13期)における追加設定元本額は3,277,997,393円、同解約元本額は1,156,466,722円です。

## 組入ファンドの概要

## ノムラ・グローバル・マネージャー・セレクトーバンクローン・ファンドー日本円為替ヘッジクラス

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。  
運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

## 【純資産価格の推移】



(注) 分配金を分配時に再投資したものと計算しております。

## 【1口当たりの費用明細】

(2013年11月26日～2014年9月30日)

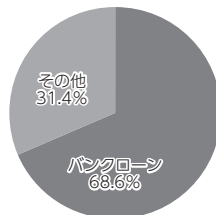
当該期間の1口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

## 【組入上位10銘柄】

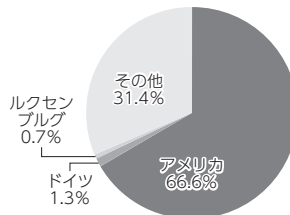
(2014年9月30日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率
					%
1	TI Group Automotive Systems, LLC 4.25% due 07/02/21	バンクローン	米ドル	アメリカ	1.6
2	American Rock Salt Co., LLC 8.00% due 05/20/22	バンクローン	米ドル	アメリカ	1.3
3	Asurion, LLC 8.50% due 03/03/21	バンクローン	米ドル	アメリカ	1.3
4	UCI International, Inc. 5.50% due 07/26/17	バンクローン	米ドル	アメリカ	1.3
5	World Triathlon Corp. 5.25% due 06/25/21	バンクローン	米ドル	アメリカ	1.3
6	IMC OP, LP 5.25% due 08/15/20	バンクローン	米ドル	アメリカ	1.3
7	Jazz Acquisition, Inc. 7.75% due 06/19/22	バンクローン	米ドル	アメリカ	1.3
8	Interactive Data Corp. 4.75% due 05/02/21	バンクローン	米ドル	アメリカ	1.3
9	Winebow Holdings, Inc. 4.75% due 07/01/21	バンクローン	米ドル	アメリカ	1.3
10	Connolly Intermediate, Inc. 5.00% due 05/14/21	バンクローン	米ドル	アメリカ	1.3
	組入銘柄数		70銘柄		

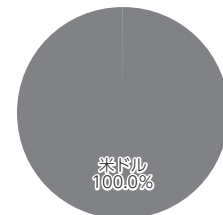
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】

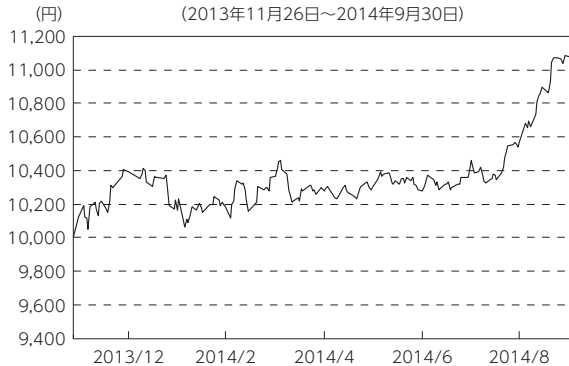


(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。  
 (注) 国 (地域) および国別配分は、原則として発行国 (地域) もしくは投資国 (地域) を表示しております。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報は、運用報告書 (全体版) に記載しております。  
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## ノムラ・グローバル・マネージャー・セレクトーバンクローン・ファンドー日本円クラス

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。  
運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

## 【純資産価格の推移】



(注) 分配金を分配時に再投資したものと計算しております。

## 【1口当たりの費用明細】

(2013年11月26日～2014年9月30日)

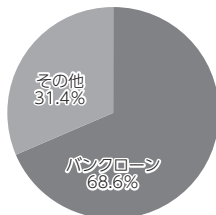
当該期間の1口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

## 【組入上位10銘柄】

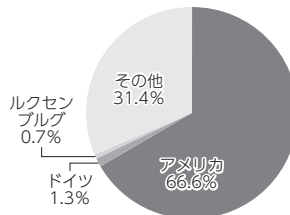
(2014年9月30日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率
					%
1	TI Group Automotive Systems, LLC 4.25% due 07/02/21	バンクローン	米ドル	アメリカ	1.6
2	American Rock Salt Co., LLC 8.00% due 05/20/22	バンクローン	米ドル	アメリカ	1.3
3	Asurion, LLC 8.50% due 03/03/21	バンクローン	米ドル	アメリカ	1.3
4	UCI International, Inc. 5.50% due 07/26/17	バンクローン	米ドル	アメリカ	1.3
5	World Triathlon Corp. 5.25% due 06/25/21	バンクローン	米ドル	アメリカ	1.3
6	IMC OP, LP 5.25% due 08/15/20	バンクローン	米ドル	アメリカ	1.3
7	Jazz Acquisition, Inc. 7.75% due 06/19/22	バンクローン	米ドル	アメリカ	1.3
8	Interactive Data Corp. 4.75% due 05/02/21	バンクローン	米ドル	アメリカ	1.3
9	Winebow Holdings, Inc. 4.75% due 07/01/21	バンクローン	米ドル	アメリカ	1.3
10	Connolly Intermediate, Inc. 5.00% due 05/14/21	バンクローン	米ドル	アメリカ	1.3
	組入銘柄数		70銘柄		

## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。  
(注) 国 (地域) および国別配分は、原則として発行国 (地域) もしくは投資国 (地域) を表示しております。  
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報は、運用報告書（全体版）に記載しております。  
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

野村マネーマーケット マザーファンド

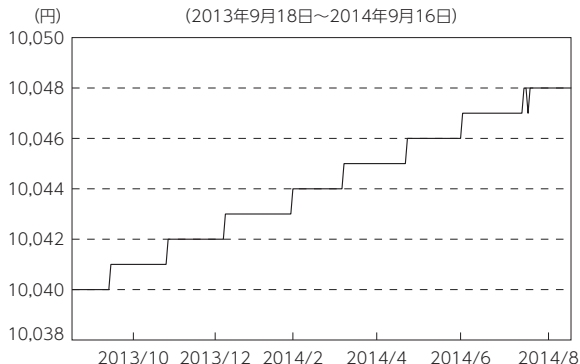
運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

【基準価額の推移】

【1万口当たりの費用明細】

(2013年9月18日～2014年9月16日)

該当事項はございません。

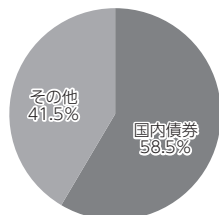


【組入上位10銘柄】

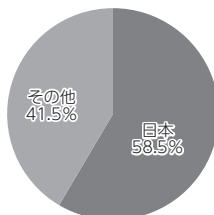
(2014年9月16日現在)

銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1 国庫債券 利付(2年)第323回	国債証券	円	日本	7.6
2 国庫債券 利付(2年)第321回	国債証券	円	日本	6.1
3 国庫債券 利付(2年)第327回	国債証券	円	日本	4.6
4 国庫債券 利付(2年)第324回	国債証券	円	日本	4.3
5 日本高速道路保有・債務返済機構承継 政府保証第337回	特殊債券(除く金融債)	円	日本	4.0
6 日本高速道路保有・債務返済機構承継 政府保証第343回	特殊債券(除く金融債)	円	日本	3.1
7 首都高速道路債券 政府保証第195回	特殊債券(除く金融債)	円	日本	3.1
8 商工債券 利付第721回い号	金融債券	円	日本	3.1
9 中小企業債券 政府保証第182回	特殊債券(除く金融債)	円	日本	3.1
10 国庫債券 利付(2年)第325回	国債証券	円	日本	3.1
組入銘柄数		20銘柄		

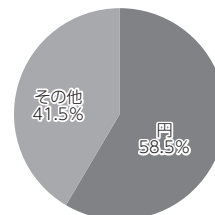
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。  
 (注) 国(地域)および国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報は、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### ○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、株式会社東京証券取引所 (㈱東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(㈱東京証券取引所) が有しています。なお、本商品は、(㈱東京証券取引所) により提供、保証又は販売されるものではなく、(㈱東京証券取引所) は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

### ○MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

### ○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利は MSCI に帰属します。また MSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

### ○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI 国債を用いて行われる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

### ○シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

「シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)」は、Citigroup Index LLC が開発した日本を除く世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスで、Citigroup Index LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は、Citigroup Index LLC が有しています。

### ○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

「JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)」(ここでは「指数」とよびます) についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社 (以下、JPM) がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPM やその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持ち、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受入、プレースメント、エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。

米国の J.P. Morgan Securities LLC (ここでは「JPMSLLC」と呼びます) (「指数スポンサー」) は、指数に関する証券、金融商品または取引 (ここでは「プロダクト」と呼びます) についての援助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。

JPMSLLC は NASD, NYSE, SIPC の会員です。JPMorgan は JP Morgan Chase Bank, NA, JPSI, J.P. Morgan Securities PLC., またはその関係会社が投資銀行業務を行う際に使用する名称です。

(出所：株式会社野村総合研究所、Citigroup Index LLC 他)

### <お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2015年5月19日現在)

年 月	日
2015年 5月	25
6月	－
7月	3
8月	－
9月	7
10月	－
11月	11、26
12月	24、25

※ 2015年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。